

令和6年度 学校法人盛岡学園認定こども園みなみ幼稚園 保育教諭自己評価

対象 保育教諭 12名 経験年数 1年～32年（平均18.3年）

	評価項目	自己評価 %			
		A	B	C	D
I	保育の計画性				
1	園の教育理念・教育方針の理解	42	42	16	0
2	幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解	8	84	8	0
3	教育課程の編成と評価	50	50	0	0
4	指導計画の作成	67	33	0	0
5	環境の構成	33	67	0	0
6	保育と計画の評価・反省	33	67	0	0
<p>上記項目の自己評価に対する課題と思われること</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎園の教育理念や教育方針を理解し共感する ◎指導計画に基づいて、幼児が主体的にかかわりたくなるような安全で清潔感がある環境構成をする ◎幼児の発達や生活を見通し、季節の変化に応じた環境構成をする ◎異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をする 					
II	保育のあり方、幼児・3歳未満児への対応				
1	健康と安全への配慮	92	8	0	0
2	幼児のみとりと理解	42	58	0	0
3	指導とかかわり [心のよりどころとして]	58	42	0	0
4	〃 [遊び・活動の援助者として]	50	33	17	0
5	保育者同士の協力・連携	59	33	8	0
<ul style="list-style-type: none"> ◎個々の幼児の発達の姿や課題について見通しをもって理解する ◎禁止、命令、行動を急がせるなどのことばや態度はできるだけ控える ◎家庭環境やこれまでの成育歴などを考慮してかかわる ◎一人ひとりの排泄間隔を把握し、その子の排泄にリズムに合わせておむつ交換をしたりトイレに促したりする ◎他クラスや異年齢の子達と触れ合うようさまざまな工夫、保育の形態を取り入れる 					
III	保育者としての資質や能力・良識・適正				
1	専門家としての能力・良識・義務 [専門家としての能力]	50	42	8	0
2	〃 [良識とマナー]	67	33	0	0
3	〃 [義務]	50	50	0	0
4	組織の一員としての在り方	50	50	0	0
5	まわりを感じ取れる感性・アンテナ	25	75	0	0
<ul style="list-style-type: none"> ◎教材、教具の管理、点検、園内外の清掃や整理整頓を実行する ◎仕事の手順を考え、能率よく行う ◎当番や役割による仕事を理解し確実に行う ◎乳幼児や教育・保育に関する情報を日頃から得ようとする 					

	評価項目	自己評価 %			
		A	B	C	D
IV	保護者への対応・守秘義務				
1	情報の発信と受信	42	42	16	0
2	協力と支援	83	17	0	0
3	守秘義務の遵守	92	8	0	0
4	対応上のマナー・良識	33	67	0	0
5	クレームへの対応の仕方	58	42	0	0
<p>上記項目の自己評価に対する課題と思われること</p> <p>◎正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて話しかけ、相手の話も落ち着いてしっかりと聞く</p> <p>◎親しくなったからといっても、友達同士のよう話し方をしない</p> <p>◎電話では簡潔に要領よく対話することを心がける</p>					
V	地域の自然や社会とのかかわり				
1	地域の自然・人々とのかかわり	50	50	0	0
2	小学校との連携・接続	17	83	0	0
3	地域の特徴を生かした保育の展開	17	83	0	0
<p>◎実習生を受け入れるときは、意義や方針を理解し、指導的立場で接する</p> <p>◎小学生が遊びに来ることのできる場を設ける</p> <p>◎小学校が、園での子どもの育ち等について、どのような情報を必要としているのか理解するように努める</p> <p>◎高齢者との交流のために、デイサービス交流・行事への参加の呼びかけなど積極的に行うこと</p>					
VI	保育の専門性に関する研修・研究への意欲・態度				
1	研修・研究への意欲・態度	25	58	17	0
2	遊具・教材に関する専門性の向上	34	58	8	0
3	園内の環境に関する専門性の向上	17	66	17	0
4	今日的課題に関する専門性の向上	42	50	8	0
5	自ら高めるための学習	50	25	25	0
<p>◎研修会や研究会には自己課題をもって参加し、事前にその内容を確認したり自分なりの考えをまとめたりする</p> <p>◎園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方を知る</p> <p>◎園舎の構造や保育室・体育館等の位置・大きさがどのような教育的な意味を持つか理解する</p> <p>◎園庭や田畑、砂場、かくれ場所などの位置、広さなどがどのような教育的な意味を持つか理解し、保育に生かす</p> <p>◎保育の専門知識や技能のほかに趣味や読書、ボランティア活動等にも関心をもつ</p>					